News Release

令和６年　５月３１日

市政記者　各位

福岡市経済観光文化局
まつり振興課

「博多祇園山笠」宣伝隊の派遣について

ユネスコ無形文化遺産及び国指定重要無形民俗文化財である「博多祇園山笠」を広く紹介宣伝し、山笠の魅力発信及び認知度向上を図るため、下記のとおり、宣伝を実施いたします。

福岡市内及び岡山県倉敷市、香川県高松市において表敬訪問及び街頭宣伝を実施いたしますので、取材いただきますようご配慮のほどよろしくお願いいたします。

記

１　宣伝隊名称

博多祇園山笠宣伝隊
（武田（たけだ）　忠也（ただなり）　博多祇園山笠振興会会長）

２　宣伝日時

■ 令和６年６月５日（水）：福岡市内
■ 令和６年６月７日（金）：岡山県倉敷市　倉敷駅（自由通路）
■ 令和６年６月８日（土）：香川県高松市　高松丸亀町商店街（丸亀町壱番街前ドーム広場）

３　主　　催

博多祇園山笠振興会・福岡市
(公財)福岡観光コンベンションビューロー

４　福岡市内・県外宣伝スケジュール等

別紙のとおり

５　宣伝隊構成（36 名）

・博多祇園山笠振興会
・博多民踊協会
・2024-2025 福岡親善大使（上田　穂乃香）

【問合せ先】
まつり振興課　担当：大塚、荒木
TEL：092 - 711 - 4359・内線 (2563)

別 紙

博多祇園山笠宣伝隊実施概要

1　目　　的　ユネスコ無形文化遺産及び国指定重要無形民俗文化財である「博多祇園山笠」を広く紹介宣伝し、山笠の魅力発信及び認知度向上を図る。

追い山笠（櫛田入り）

2　宣伝方法

（1）　表敬訪問
（2）　地元報道関係への誘致宣伝及び取材依頼
（3）　街頭宣伝
　① 演舞披露（博多山笠音頭、博多山笠、カッチリ節）
　② 山笠リーフレット・山笠特製団扇の配付

3　福岡市内宣伝スケジュール

日　　時		場　　所	内　　容
6月5日（水）	10:05～10:25	博多座前	表敬訪問、街頭宣伝 踊り披露（2曲）
	10:55～11:15	西鉄福岡（天神）駅北口 ときめき広場（コンコース）	表敬訪問、街頭宣伝 踊り披露（2曲）
	11:40～12:00	ＮＨＫ福岡放送局	表敬訪問、TV 番組出演
	12:20～12:35	ＲＫＢ・ＴＮＣ（百道浜）	表敬訪問、踊り披露（1曲）
	14:20～14:35	ＫＢＣ九州朝日放送	表敬訪問、踊り披露（1曲）
	14:50～15:05	ＦＢＳ福岡放送	表敬訪問、踊り披露（1曲）
	15:25～15:45	キャナルシティ博多	表敬訪問、踊り披露（2曲）
	16:00～16:15	JR 博多駅前広場	表敬訪問、街頭宣伝 踊り披露（2曲）
	16:30	櫛田神社到着	

4　県外宣伝スケジュール

日　　程	時　　間	場　　所	内　　容
6月7日(金)	① 11:15～11:30	① 倉敷市役所	① 表敬訪問
	② 11:50～12:15	② 倉敷駅（自由通路）	② 街頭宣伝 PR 踊り披露（3曲）
6月8日(土)	10:20～10:45	高松丸亀町商店街 （丸亀町壱番街前ドーム広場）	街頭宣伝 PR 踊り披露（3曲）

5　博多祇園山笠行事の主要スケジュール

主な行事名	期　日	主な行事名	期　日
飾り山笠の公開	7月1日～15日 午前0時	他流舁き	7月11日夕刻
当番町お汐井とり	7月1日夕刻	追い山笠馴ならし	7月12日 午後3時59分から
全流お汐井とり	7月9日夕刻	集団山笠見せ	7月13日 午後3時30分から
流舁き	7月10日夕刻	流舁き	7月14日夕刻
朝山笠	7月11日早朝	追い山笠	7月15日 午前4時59分から

6　博多祇園山笠の説明

博多祇園山笠は、毎年７月１日から１５日まで、絢爛豪華な「飾り山笠」と勇壮豪快な「舁き山笠」で、博多の街が祭り一色となります。

山笠の起源は、仁治２年（西暦１２４１年）承天寺の開山「聖一国師」が、当時、博多に流行した疫病退散を祈願をしたことから始まったと言い伝えられており、今年で７８２年の歴史を誇ります。また、昭和５４年には国の重要無形民俗文化財に指定され、平成２８年１１月（エチオピア・アディスアベバ現地時間１１月３０日。）には「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

市内１３か所に設置される「飾り山笠」は、博多人形師が丹精を込め、趣向を凝らして製作されますが、毎年、山笠を新しく作り替えるのが慣例であるため、１５日未明には、解体されます。

走る飾り山笠

この祭りの後半にはいると、いよいよ「舁き山笠」が登場し、博多の街を駆け巡ります。

７月１０日から１５日の早朝迄、博多の街の各区域（大黒流・東流・中洲流・西流・千代流・恵比須流・土居流　※全七流）で「舁き山笠」を観ることができますが、その中でも特に圧巻なのは、７月１５日の「追い山笠（7/15　4：59～)」です。

「１分前、３０秒前、５秒前・・・」と舁き手（山笠を担ぐ人）と観衆が固唾を飲む緊迫の中、午前４時５９分、暁を破る大太鼓が「ドーン」と鳴り響き、間髪を入れず一番山笠が、万余の観衆の中「ヤァー！」という掛け声と同時に奔走の勢いでスタート（「櫛田入り」と言う。）します。

以下、５分間隔で八番山笠まで、重さ１トンを超える山笠が、沿道からの勢い水を浴びながら、「前きれ、前きれ！」「オイサッ、オイサッ」と、前を疾走する山笠を追走し、約５キロメートルを約３０分で疾走します。